

R-2: 国際専門委員会

開催日時・会場 9月4日(水曜日) 9:00-10:30 新C203(2階)

INORMSの取組み: Research Evaluation Working Group

このセッションでは、INORMSの公式のSIG (Special Interest Group) として活動している2つのグループの内、Research Evaluation Working Groupの議論の中間報告を中心に、関連するトピックをディスカッションする予定です。2018年6月にエジンバラで開催された第7回NORMS世界大会の基調講演の中から、二つのSIGが誕生しました。テーマはそれぞれResearch EvaluationとResearch Impact and Stakeholder Engagementです。現在、INORMS加盟する各団体の代表者から構成される国際的なグループが、現状、課題、展望をバーチャルに議論しており、2020年の広島でのINORMS世界大会ではその議論の概要を報告する計画です。

Research Evaluation Working Groupでは、世界大学ランキングの問題点について考えている「Ranking of Rankers」とメトリクスに関する注意点を執行部向けにまとめている「Senior Manager Briefing Materials」の二つのディスカッション・サブグループを作り、2020年のINORMS広島で発表する議論の成果報告や提言をまとめる作業を行っています。折に触れ、INORMSのウェブページで活動の状況の報告もしています。

本セッションではResearch Evaluation Working Group全体の活動の概要の説明を行った後、二つのサブグループが取りまとめている提言の中間報告を行う予定です。続く後半では、大阪大学経営企画オフィスから菊田隆氏に加わっていただき、質疑応答を含めたディスカッションを行います。質疑応答やディスカッションを通じて共有していただいた貴重なご意見や知見は、日本のRAコミュニティからのメッセージとして、私たちのWorking Groupの今後の活動や現在まとめている提言に反映させていきたいと考えています。多くの方にご参加いただき、多くのご意見やコメントをいただければ幸いです。

オーガナイザー／講演者

清家弘史: 京都大学

産官学連携本部 社会連携部門 特任准教授

東京大学理学部化学科卒業。The Scripps Research Institute, Graduate Program in Chemistry 修了 (Ph.D.)。英国王立化学会日本事務所、東北大学URAセンターを経て、2019年4月より現職。科学、出版、国際関係分野における経験を活かしたデータ分析を行い、得られた知見に基づく戦略やプロジェクトの立案・運営を得意とする。

講演者

Justin Shearer :

Manager, Research and Innovation, University of Melbourne



Justin Shearer is the Manager, Research and Industry, for the Faculty of Business and Economics at the University of Melbourne. He also is the leader of the Rankings Sub-Group of the INORMS-sponsored Responsible Evaluation Working Group where he represents the Australasian Research Management Society. He has seven years' experience in research management, with a particular interest in customer experience, industry engagement, researcher development and research evaluation.

菊田隆 : 大阪大学

経営企画オフィス 副オフィス長



筑波大学環境科学研究科修士課程修了、学術修士。流通系シンクタンクを経て1988年科学技術に特化した公益シンクタンクに入所。主として科学技術政策や研究開発システムに関する調査研究に従事。2012年10月に大阪大学大型教育研究プロジェクト支援室着任。2018年4月より現職。